



○2学期終業式校長講話掲載「先を見通して、目標を立て計画的に実行する力」

8月26日にスタートした2学期も本日で終了です。登校日数は81日ありました。みなさんにとって、この2学期はどうでしたか。充実した期間でしたか。2学期は多くの行事が実施されました。

まずは、体育大会です。各団の団長をはじめ、リーダーたちが団をまとめ、あの暑さに負けない体育大会となり、見る者を魅了させました。

また、桜華祭もそれぞれのクラスの特徴を最大限に活かし、最高のパフォーマンスを見せてくれました。さらに、桜マーケットもそれぞれの店舗において、授業で学んだことを基礎として、様々な工夫が見られ、毎年楽しみにして来られるお客様を楽しませるものとなりました。皆さんは、これらの行事を通して、たくさんの事を学んだと思います。勿論クラスの団結力、仲間との絆だけでなく、思考力、企画力、創造力なども身についたと思います。

行事や物事を新たに生み出す時に一番大切な力は、何だと思いますか。

私は、「先を見通して、目標を立て計画的に実行する力」だと思います。

今学期の行事の全ては、早くから先を見通し、早くから計画的に先生方と生徒が動き、それぞれの目標に応じた成果がでました。特に3年生は、後輩を引っ張りながら行動する姿はきらきら輝いていました。1,2年生にとって大きな目標となったと思います。3年生は、全校集会の時も成長を感じます。ときどき、ざわつく場面があるのも、3年生の担任の先生方の表情を読み取り静かになります。状況を察することができる集団なのです。状況判断能力が身についたなと感じます。

次に話したいことは、「あなたは、何かに挑戦しましたか？」

4月の始業式でみなさんも何かに挑戦してください。やるならトコトンという話をしました。私も、今年のロードレース大会に参加させていただき、約5kmを走りました。正直きつかったです。口にしてしまったことで、時間を見つけては、トレーニングを続けました。調子に乗って青島太平洋マラソン10kmも初めて参加し完走しました。ゴールしたときのなんとも言えない感動は今も忘れません。一番うれしかったのは、皆さんときついけどやり遂げたという気持ちを一緒に味わうことができたと言うことです。一生の思い出になりました。

本気で「挑戦する」すると言うことは、面倒くさいですよね。だって先ほど述べたように、「先を見通して、目標を立て計画的に実行しなければならない」から。

しかし、「挑戦」してもうまくいかず「失敗」することの方が多いですが、パナソニックを一代で築き上げた「経営の神様」こと、松下幸之助氏の言葉を紹介します。

松下幸之助氏は、「私は、失敗しない」なぜなら、「失敗したところでやめてしまうから、失敗になる。成功するところまで続ければ、それは成功になる。」

これは、何度「失敗」しても、「失敗」はすべて成功への過程の「良い経験」になるということです。やるならトコトン！の精神ですよね。

私も、来年年女、いよいよ還暦を迎えます。それでも「挑戦を続けたい」と思います。

みなさんも、この冬休み、来年何に挑戦するのか考えてみてください。10代の皆さんには、2,3回失敗してもへこたれるなどといいたいです。

終わりに、明日から冬休みにはいります。是非、1年を振り返ってみてください。そして、今年毎日、学校に登校できたことを「当たり前」と思わないでください。「当たり前」の反対語は「当たり前じゃない特別なこと」ですよね。

つまり、「ありにくいこと」漢字で書くと「有り難い」これは、「ありがたい」と読みます。だから、1年間無事に過ごせたことに、「有り難い」という思いで、支えていただいた先生方、保護者や友達に「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えて1年を締めくくってください。

きっと、1年のスタートが穏やかな気持ちで迎えられると思います。私は、みなさんに多くの感動と勇気をいただき支えられ、なんとか終業式を迎えられました。本当にありがとうございます。来年もよろしくお願ひします。以上で終わります。